

# 小学6年 国語科「自分の考えを発信しよう」

柏市立旭東小学校 名前 芝井 祐太郎

## 1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

### (1) 単元について

明確な根拠を持って説得力のある意見文を書く単元である。児童は自分の得た様々な情報の審議を確かめながら取材をしたり、意見と事実を区別したりしながら意見を書いていく。これからの情報化社会と生きていく上で必要な情報の受信者・発信者としてのメディアリテラシーを養っていくためにも重要な学習となる。

### (2) 身に付けたい力

- ・理由や根拠、反対の立場の意見などを示し、説得力のある意見文を書く力。
- ・事実と感想、意見とを区別して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。
- ・資料を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力
- ・目的や意図に応じて取材したり、アンケートを取ったりし、必要な情報を収集・整理する力。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分や相手の良いところを見つける力。

本単元では、「自分の主張を効果的に伝える構成を考えて、説得力のある意見文を書く力」を身につけさせるために、以下の4点を指導の重点とする。

#### ①主張・事実・意見の区別を明確にして学習の見通しをもてるようにする。

- ・主張⇒自分の考えを認めてもらえるように強く訴える内容。「～すべきである。」「～の方が良い」など。
- ・事実⇒取材（インターネット検索、アンケート、マスメディア、生活経験など）をして集めた情報。
- ・意見⇒事実に対する自分の考え。主張の説得力を高めるための自分の考え。

#### ②コラボノートを活用し、意見の共有・文章修正の効率化を図る。

- ・コラボノートに書くポイントを記載し、常にポイントを意識して書くようにする。

#### ③説得カードを作成し、構成表の作成や話し合いの効率化を図る。

- ・事実は赤、意見は青で記入し、視覚的にわかりやすく説得カードにまとめる。

#### ④3人単位でグループを構成し、話し合いの充実を図る。

- ・一人あたりの発言、推敲時間を十分に確保するために、3人のグループ編成を基本とする。
- ・話し合いを進める役割を明確にしておき、短時間でより多くの発言が得られる機会を確保する。

#### ⑤世の中の様々な情報に触れさせるために「小学生朝日新聞」を活用する。

- ・事前学習として、朝学習で「小学生朝日新聞」を読む機会を確保し、様々な情報に触れさせることで課題を見出しやすくする。

### (3) 学習計画

学習のゴール：日頃感じている問題や改善したいこと、困っていることなどから課題を見出して意見文を書き、伝えたい相手に情報発信する。

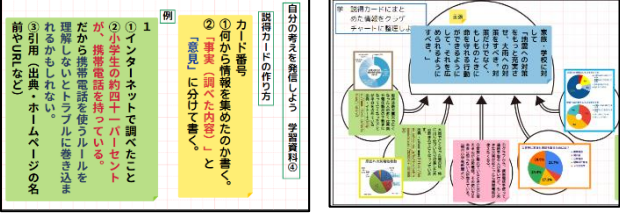
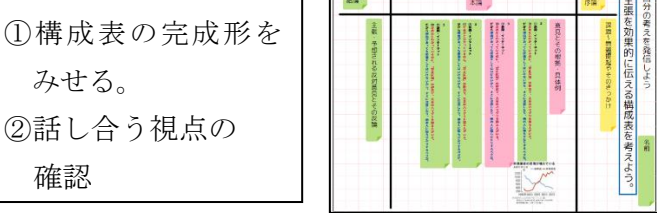
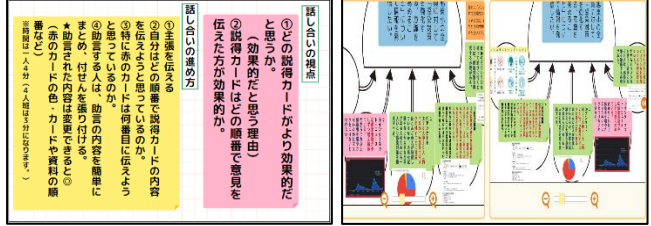
	時	学習内容 ○身に付けたい力
1 課題の設定	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の進め方」を読み、どのように意見文を書くのかイメージし、学習の見通しをもつ。</li> <li>・課題、主張、意見の違いについて知る。</li> <li>・学習のゴールを知る。</li> <li>・日頃感じている問題や改善したいことなどの意見をコラボノートで共有し、意見文の課題を見出す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">意見文に書いてみたい課題をみつけよう。</div> <p>○必要な情報を整理する力。</p>
2 情報の収集	2・3・4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を決めて、意見文を書くために必要な情報の集め方とその内容について考える。</li> </ul> <p>(アンケートにするか、取材にするか、インターネットを活用するかなど)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">どんな方法で取材を行うか決め、説得力を高めるための情報を集めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力を高めるための情報を収集する。</li> <li>・目的や意図に応じて取材したり、アンケートを取ったりし、必要な情報を収集できているか、グループで確認する。</li> <li>・集めた情報を図表やグラフなどに表す。</li> </ul> <p>○目的や意図に応じて取材したり、アンケートを取ったりし、必要な情報を収集する力。</p>
3 整理・分析	5  6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">思考ツールを使い、集めた情報を整理しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ツールを活用しコラボノート上で取材情報を整理する。</li> <li>・集めた情報から主張を明確にする。</li> <li>・自分の主張に対して、使いたい取材情報が合致しているか確かめながら、説得カードをまとめておく。</li> <li>・事実と意見を区別して、説得カードにまとめられているかグループで話し合う。</li> </ul> <p>○事実と感想、意見とを区別して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">主張を効果的に伝える構成表を考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を参考に序論・本論・結論の流れを確認する。</li> <li>・自分の主張と説得カードを比べ、より効果的に伝えるための工夫について、グループで話し合う。</li> <li>・話し合った内容を生かしながら、構成を考える。</li> </ul>

4  まとめ・ 表現	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">構成をもとに、意見文を書こう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成をもとに、序論・本論・結論のつながりを考えて意見文を書く。</li> <li>・事実と意見の違いを確認しながら意見文を書く。</li> </ul> <p>○理由や根拠、反対の立場の意見などを示し、説得力のある意見文を書く力。</p> <p>○資料を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力</p>
	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">友達の意見文を読み、良さや改善点を伝え合おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のある文章になっているか、グループで読み合う。</li> <li>・推敲する時にはコラボノートのメモ機能を活用する。</li> <li>・理由や根拠、反対の立場の意見などを示してあるか確認する。</li> <li>・事実と意見を区別しているか確認する。</li> <li>・資料を引用したり、図表やグラフなどを使ったりしているか確認する。</li> </ul>
5 振り返り 改善	9・10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">意見文発表会をしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた意見文をクラスで伝え合い、相互評価する。</li> <li>・学習をとおして学んだことを振り返り、全体で共有する。</li> </ul>
	11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">保護者からの感想を読み、学習を振り返ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に意見文を読んでもらう。</li> <li>・読んでもらった感想をもとに単元の振り返りを行う。</li> </ul> <p>○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分や相手の良いところを見つける力</p>

## 2. 本時について（本時 6 / 1 1 時間）

### （1）本時の目標

- ・自分の主張を効果的に伝えるために、文章全体の構成や展開を考えることができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕（Bイ）

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 4分	<p>1 前時に作成した思考ツールの内容を再確認する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【コラボノート】 前時までの学習内容を全体に提示する。</li> </ul>
展開 ① 20分	<p>2 構成表の考え方を確認する。</p> <p>①構成表の完成形をみせる。</p> <p>②話し合う視点の確認</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【コラボノート】 コラボノートで作成した構成表を見て、今日のゴールの見通しをもたせる。</li> <li>●思考ツールを活用し、本論に焦点をあてて話し合うことを確認する。</li> </ul> <p>【話し合いの視点】</p> <p>①どの意見がより効果的か。</p> <p>②どの順番で意見を伝えた方がより説得力があるのか。</p>
	<p>4【協働・比較検討】3人グループで思考ツールの構成について話し合う。</p> 	
展開 ② 17分	<p>5 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの中で効果的だと感じた工夫について発表する。</li> </ul> <p>6 学習課題について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点を確認して、振り返りを書く。</li> <li>・次回の課題について考える。</li> </ul> <p>7 次回の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成表を元に、意見文を書くことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【コラボノート】 思考ツールのページを1人あたり2ページ作ることで、話し合った後の変容を見とれるようにする。</li> <li>●【スプレッドシート】 ●主張を効果的に伝える構成とはどのようなものかについて考える。</li> <li>●次の意見文をどのように書きたいのか考える。</li> <li>●学習課題について振り返り、次時の課題へつなげる。</li> </ul>
終末 4分		

## (2) 板書計画 (ICT 機器活用も含む)

<p><b>主張を効果的に伝える本論の構成についての共通点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事実と意見を区別している。</li> <li>・ 反対意見を取り入れて主張を強調させている。</li> <li>・ グラフや数値があると説得力が高まる。</li> </ul>	<p>コラボノートの画像</p>	<p><b>グループ活動の話し合う視点</b></p>	<p><b>構成をまとめる時のポイント</b></p>	<p><b>学 自分の主張を効果的に伝えるための構成を考えよう。</b></p>	<p><b>自分の考えを発信しよう</b></p>
--	------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	---------------------------

## (3) 評価

本時の「思考・判断・表現」の評価

◇自分の主張を効果的に伝えるために、文章全体の構成や展開を考えたことができたか。

A: 自分の主張を効果的に伝えるために、本論で説得カードを3つ以上使い、構成表を完成させている。

B: 自分の主張を効果的に伝えるために、本論で説得カードを使い、構成表を完成させている。

C: 構成表を完成させることができない。

## 3 実践の流れ

### ○課題の設定 (1時間目)

まず初めに、単元名「説得力のある意見文を書こう」を読み、説得力のある意見文とはどのようなものなのか話し合った後、テキストマイニング機能を使い、全体で共有した。次に、この単元で活用していく学習資料を提示し、どのような流れで意見文を作成していくのか見通しをもった。最後に「小学生朝日新聞」や「自主学习」で最近気になる世の中の情報について事前に収集していた内容をもとに、「日頃感じている問題や改善したいこと」などの意見をコラボノートにまとめ、クラス全体で共有した。

<p>結果 也 事例 話し相手</p> <p>図 経験 <b>実際</b> データ</p> <p>引用 意見 <b>根拠</b> 考える 専門</p> <p>証拠 信頼 説得 体験 わかる 具体</p> <p>写真 明確 資料 グラフ</p> <p>反対</p>	<p><b>自分の考えを発信しよう 学習資料①</b></p> <p>課題の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の体験</li> <li>・ 日頃から疑問に思っていること</li> <li>・ 大切にしていること</li> <li>・ 調べたこと</li> <li>・ 改善したいこと</li> <li>・ テレ、新聞などの情報から集めたこと</li> </ul> <p><b>自分の考えを発信しよう 学習資料②</b></p> <p>★取材のポイント</p> <p>自分の意見を説得力を持たせるためには色々な立場からの見方や考え方をふまえて書くことが大切!取材する際には、<b>幅広い情報</b>から集められると◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の経験</li> <li>・ 本や資料</li> <li>・ 新聞</li> <li>・ ニュース</li> <li>・ 表やグラフ</li> <li>・ クラスのみんなにアンケートなど</li> </ul>	<p><b>自分の考えを発信しよう 学習資料③</b></p> <p>説得カードの作り方</p> <p>① 何から情報を集めたのか書く。</p> <p>② 「<b>事実 (調べた内容)</b>」と「<b>意見</b>」に分けて書く。</p>	<p><b>学 意見文に書いてみたい課題をみつけよう</b></p> <p>課題の探し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の体験</li> <li>・ 日頃から疑問に思っていること</li> <li>・ 大切にしていること</li> <li>・ 調べたこと</li> <li>・ 改善したいこと</li> <li>・ テレ、新聞などの情報から集めたこと</li> </ul>
<p><b>自分の考えを発信しよう 学習資料④</b></p> <p>意見：事実に対する自分の考えや主張の説得力を高めるための自分の考え。</p> <p>事実：取材(インターネット検索、アンケート、本、専門家の話など)から集めた情報。調べた情報。</p> <p>※インターネットの情報はすべてが事実ではないので注意すること</p>	<p><b>自分の考えを発信しよう 学習資料⑤</b></p> <p>課題集め</p> <p>事例：自分自身の体験</p> <p>調べたこと：新聞、ニュース、インターネット、本、資料</p> <p>改善したいこと：自分自身の課題、周りの課題</p> <p>興味があること：自分自身の興味、周りの興味</p> <p>話し相手：友達、先生、保護者、専門家</p>	<p><b>学 意見文に書いてみたい課題をみつけよう</b></p> <p>課題の探し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の体験</li> <li>・ 日頃から疑問に思っていること</li> <li>・ 大切にしていること</li> <li>・ 調べたこと</li> <li>・ 改善したいこと</li> <li>・ テレ、新聞などの情報から集めたこと</li> </ul>	<p><b>学 意見文に書いてみたい課題をみつけよう</b></p> <p>課題の探し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分自身の体験</li> <li>・ 日頃から疑問に思っていること</li> <li>・ 大切にしていること</li> <li>・ 調べたこと</li> <li>・ 改善したいこと</li> <li>・ テレ、新聞などの情報から集めたこと</li> </ul>

★1人1台端末 ①意見文に書きたい内容をコラボノートにまとめる。 ②3人グループで意見文に書きたい内容についてコラボノートにまとめる

## ○情報の収集（2・3・4時間目）

まず、前回の授業で「どんな課題を意見文に書きたいか」の内容について全体共有した内容を振り返り、子どもたち自身がどんな課題に興味を持っているのか再確認した。次に、だれに対して、どんな主張を伝えたいのか明確にした。そのうえで、意見文に書きたい課題についてどんな方法で取材をしたらよいか考え、それぞれアンケートやインタビューを行い、結果はそれぞれコラボノートを活用してグラフを作成した。最後に、調べた内容をまとめる時には「説得カード」として、①情報源②「事実（調べた内容）」は赤、意見は青③引用先の3つを中心に作成するよう指導した。

1  
①インターネットで調べたこと  
②小学生の約四十一パーセントが、携帯電話を持っている。  
だから携帯電話を使うルールを理解しないとトラブルに巻き込まれるかもしれない。  
③引用（出典・ホームページの名前やURLなど）

ここには説得力を高める資料をはりつけ、整理しましょう。

字 どの方法で取材を行うか決めるための  
情報源をのよう。

オンラインゲームで知らない人とトークをしたことがある人（クラスで）

知らない人とトークをしたことがある人

原因外別犠牲者数

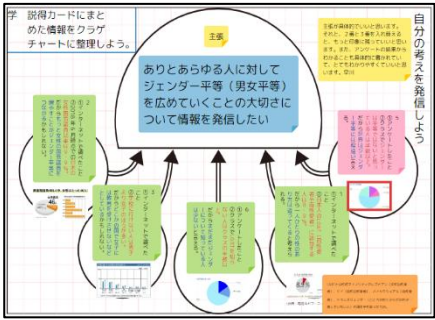
原因別に被害と連絡を取るためには？

### ★1人1台端末

- ①コラボノートを活用し、身近な課題や日ごろ感じている課題について事実と意見を区別してまとめる。
- ②コラボノートを活用し、円グラフや棒グラフを作成する。

## ○整理・分析（5・6 時間目）

まず、クラゲチャートの思考ツールを活用し、主張・説得カード・資料の整理を行った。思考ツールを活用する時には、主張は青・説得カードは緑・一番説得力があるカードは赤にするように伝え、右から伝える順番にカード並べるように指導した。次に、本時の話し合いに向けて、主張とそれぞれの意見を把握する目的で話し合いを行った。最後に、本時では、構成表を作成する前に思考ツールを活用して、主張を効果的に伝えるための本論の構成についてグループやクラス全体で検討した。話し合いの視点を明確にするために、コラボノートで作成した資料を全体に提示した。そして、「序論・本論・結論」の流れを意識して、構成表を作成した。



**話し合いの進め方**

①主張を伝える  
 ②自分ほどの順番で説得カードの内容を伝えようと思ってるのか。  
 ③特に赤のカードは何番目に伝えようと思ってるのか。  
 ④助言する人は、助言の内容を簡単にまとめ、付せんを張り付ける。  
 ★助言された内容は変更できると◎  
 (赤のカードの色・カードや資料の順番など)

※議論時間は一人1分(人組は3分になり等々)

**話し合いの視点**

①どの説得カードがより効果的だと思っか。  
 (効果的だと思っ理由)  
 ②説得カードはどの順番で意見を伝えた方が効果的か。

「構成表のポイント」

- ★本論は序論と結論の順で書きましょう。
- ★本論は説得カードと使いたい資料を張り付けましょう。(説得カード3つ以上)
- ★序論と結論は教科書の例を参考に、短い文章でまとめましょう。
- ★最後の結論は自分の主張カードに必要な文章だけ入力しましょう。

9班	8班	7班
自分主張を効果的に伝える構成表を書き出しよう	自分主張を効果的に伝える構成表を書き出しよう	自分主張を効果的に伝える構成表を書き出しよう

序論	本論	結論
自分主張を効果的に伝える構成表を書き出しよう	自分主張を効果的に伝える構成表を書き出しよう	自分主張を効果的に伝える構成表を書き出しよう

★1人1台端末

①コラボノート上で思考ツールを活用し、主張・説得カード・資料を整理する。②構成表を作成する。

○まとめ・表現 (7・8時間目)

構成表をもとにして意見文を作成した。意見文を作成する際に、意見とそれを裏付けする資料とのつながりが読み手に伝わるように文中に(資料1)などを記載するように指導した。意見文を作成した後、まずは3人グループごとに読み合い、互いの作品を推敲し合った。推敲した内容は付せん記入して友達の意見文上に張り付けることで、その内容を基に文章を修正することができた。

**構成表のポイント**

- ① 序論、本論、結論の構成を明確にする。
- ② 序論、本論、結論の構成を明確にする。
- ③ 序論、本論、結論の構成を明確にする。
- ④ 序論、本論、結論の構成を明確にする。

**クラスアンケート**

資料1: 携帯電話使用率に関する交通事故件数の推移

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	1,500	1,550	1,600	1,650	1,700	1,750

資料2: 携帯電話使用率の推移

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022
率	21%	22%	23%	24%	25%	26%

意見文の感想を記入した様子。友達からのコメントや修正の提案が書かれている。

○振り返り・改善 (9・10・11時間目)

全員の意見文が完成したら、クラスで発表会を行い、互いの作品の良さについて伝え合った。発表会の振り返りでは、クラスで優れていた意見文に対して投票を行い、もっともよい作品をみんなを選んだ。また、宿題として端末を持ち帰ってもらい、保護者に意見文の感想を書いてもらった。その感想を基に学習単元の振り返りを行った。

振り返りの感想や意見を記入した様子。生徒からのフィードバックが書かれている。

発表会の感想や投票の結果をまとめた様子。どの意見文が最も評価されたかがわかる。

保護者からの感想やコメントが書かれた紙の様子。保護者の声も取り入れられている。

## 実践を終えて

今回の単元で身に付けたい力 (●), 成果 (◎), 手立て (番号) は以下の通りである。

※効果がより感じられた手立てについては, 成果 (◎) の後に番号を記載した。

●理由や根拠, 反対の立場の意見などを示し, 説得力のある意見文を書く力。

◎理由や根拠は具体的に述べることができたが, 反対の立場の意見を提示できた児童は多くはなかった。(28人中15人) 反対の立場の意見とそれに対する反論意見をどのように意見文に取り入れていけばよいのか, 具体的に提示する必要があると考えた。

(①・③)

●事実と感想, 意見とを区別して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。

◎説得カードを用いたことや話し合いで助言し合ったことにより, 全員が事実と意見を区別し, 書き表し方を工夫することができた。(②・③・④)

●資料を引用したり, 図表やグラフなどを用いたりして, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力

◎全員が資料の引用を意識して, 活動できた。しかし, 主張の効果を高める資料を用意するまでに予想よりも時間がかかってしまった。本時の授業が始まるまでに, 家庭学習や新聞などを用いた情報集めが非常に大切であると実感できた。(②・⑤)

●目的や意図に応じて取材したり, アンケートを取ったりし, 必要な情報を収集・整理する力。

◎思考ツールを活用したことで, 必要な情報を効果的に整理することができた。そして, 構成表や意見文を短時間で作成することができた。(②・③・④)

●文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分や相手の良いところを見つける力。

◎学習のはじめから, 3人グループを基本として, 意見交換・助言・認め合いを意識して活動してきた。それにより, 互いの主張や意見のある程度把握できた状態で推敲できたので, 効率よく文章を修正することができた。最後の発表会では, 「○○の主張と資料○がつながっているので説得力があった。」などと主張と資料の結びつきを意識して認め合っていた児童が多かった。(①・③・④)

①主張・事実・意見の区別を明確にして学習の見通しをもてるようにする。

②コラボノートを活用し, 意見の共有・文章修正の効率化を図る。

③説得カードを作成し, 構成表の作成や話し合いの効率化を図る。

④3人単位でグループを構成し, 話し合いの充実を図る。

⑤世の中の様々な情報に触れさせるために「小学生朝日新聞」を活用する。

今回の実践を終えて, 一人一台端末の有効性を実感できたことが3つある。

1. 考えの共有をしやすいこと。
2. 文章の推敲を効率的に行えること。
3. 誰でも見やすい作文・資料を作成できること。

話すことや書くことが苦手な児童も学習に対して非常に前向きに取り組めることが実感できた。特に字を書くことや図形を描くことなどの得手不得手に関係なく, 見やすい資料(表やグラフ)を作成できるため, 読み手にとっても視覚的に有効であると考えられる。そのため, 本来の学習課題を達成させるための時間を有効的に使うことができる。今後も一人一台端末を有効活用していきたい。